



地域おこし協力隊 募集情報

様似町

PRコメント

北海道で農業をはじめたい、その思いが、さまに町で叶います。
様似町は北海道の南西部に位置し、太平洋と日高山脈に囲まれた自然豊かな町です。また、太平洋側気候のため、夏は涼しく、冬は雪が少ないので大変過ごしやすいところです。
夏の冷涼な気候条件を活かし「夏秋取りイチゴ」の栽培が盛んに行われており、「JAひだか東」での夏イチゴの生産量、生産高は日本一となっています。現在、町内での新規就農者は、研修中を含めると17戸になります。みなさん、農業経験はありませがイチゴ栽培をはじめとした研修を経て、その後、町が用意するリースハウスに確実に就農しています。北海道に移住し農業をはじめたい、そんな想いのある方、ぜひ、様似町での地域おこし協力隊員からはじめてみませんか。

活用概要	○農作業支援及び就農に向けた研修 (イチゴ栽培及びその他地域振興に関すること)	募集人数	4名程度 ※定員に達し次第、募集を終了します。
募集対象	○採用時に47歳未満の方(性別は問いません) ○応募時点で3大都市圏をはじめとする都市地域(過疎、山村、離島、半島等の地域以外)に在住している方で、採用後、様似町に住民票を移し、移住できる方 ○地域の活性化に意欲があり、地域になじむ意思のある方 ○PC(ワード・エクセル・インターネットなど)の操作ができる方 ○普通自動車免許を有している方	活動場所	様似町全域
任用形態	「様似町地域おこし協力隊設置要綱」に基づき町長が委嘱(雇用契約は結びません) (活動に支障がない範囲で兼業は可能です)	雇用関係	なし
任用期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年間) (1年ごとに更新で、最長で令和5年3月末までの延長の可能性あり) ※但し、協力隊員としてふさわしくないと判断した場合は、任期中であってもその職を解くことがあります。	活動時間	原則として1日7時間45分、週38時間45分勤務 始業・終業時間及び休日(週2日)は、業務の状況により変動します。 ※有給(年10日)
報酬	月額165,000円		
待遇・福利厚生	○住宅費として月額40,000円を上限として支給(実費相当額) ○活動に必要な車両の借上料として月20,000円を助成 ○活動に必要なインターネット利用料、携帯電話利用料の一部として月15,000円を助成 ○活動にかかる傷害保険料として月額15,000円程度を助成(加入手続きは町で行います) ○活動に必要な研修の受講費用及び研修会場までの旅費については町基準に基づき支給 ○希望者には作業服等用意できます。 ※様似町との雇用契約は存在しないため、所得税、町道民税、国民健康保険税及び年金保険料等は各自でご負担いただきます。		
選考の流れ	①第1次選考：所定の応募用紙にて書類選考(郵送可) ②第2次選考：第1次合格者を対象に、様似町において面接試験を実施(交通費等は個人負担)	申込受付期間	令和2年2月28日まで ※定員に達し次第、募集を終了します。 (申込み受付次第、随時面接)
備考	詳細は別紙をご確認ください。		
お問い合わせ先	お問い合わせは下記担当まで(メールでのお問い合わせが確実です) 様似町産業課農務係(担当：逢山 オウヤマ) 〒058-8501 北海道様似郡様似町大通1丁目21番地 メール：sangyouka@samani.jp 電話：0146-36-2111 FAX：0146-36-2662		

さまにでイチゴ つくいませんか！

～北海道様似町でイチゴと夢を育てませんか～

札幌市

様似町

様似町農業担い手育成協議会

リースハウスでイチゴ栽培

農業を始めるには多額な費用が掛かります。ビニールハウスでのイチゴ栽培も自らが整備するとなると相当な費用が必要となります。

様似町では、町が整備したビニールハウスをリースして就農できるため、ここ数年、新規就農者到大変好評をいただいております。

独立就農する際には、町・農協の補助を受け自分に合ったハウスを建設することが出来ます。北海道で農業を始めたい貴方、ぜひ、検討してみてください！

研修から就農までをサポート

様似町は海洋性気候で冬は雪が少なく、夏の気温が低いこともあり、暑さを嫌うイチゴ栽培には最適な地域と言われています。近年、その気候条件を生かした“夏秋取りイチゴ”の栽培が盛んになっています。

作付けしているイチゴは「すすあかね」という品種で、6月から11月まで収穫していますが、日本のイチゴ生産の端境期にあたる時期に収穫するため、高収益な作物として生産されています。

そのようなイチゴの栽培技術を先進的農家において1、2年の研修を行い、研修後はリースハウスで就農することが出来ます。

イチゴの出荷については、全て共同選果となっており、就農後はイチゴ生産だけに集中出来ます。



新規就農者を支援

< 就農研修中の支援 >

事業・対象経費	年齢要件	補助率・金額	備考
農業次世代人材投資事業補助金（準備型）	50歳未満	年額 150 万円	最長2年間
研修資金	45～65 歳未満	月額 8 万円	
住宅料	なし	月額 4 万円	
交通費	なし	月額 2 万円	研修地が町外の場合

<< 経営開始後の支援 >>

事業・対象経費	年齢要件	補助率・金額	備考
農業次世代人材投資事業補助金（経営開始型）	50歳未満（就農時点）	年額 最大 150 万円	最長 5 年間 所得により変動
イチゴ苗の購入費	なし	1/2 以内	
農地の取得経費	なし	1/2 以内 （限度額 300 万円）	
ハウス等施設整備費	なし	3/4 以内 （限度 10 棟以内）	

地域おこし協力隊で就農

様似町では平成26年度から地域おこし協力隊事業を活用し、「農作業支援および新規就農に向けた研修」として隊員を委嘱しています。

協力隊員は4月から翌々年の3月までを研修期間とし、1年目は地域農家の作業支援活動としてイチゴの収穫や、水稻の苗づくりなどを手伝うことで、農業者を知り、交流を深め、就農後も地域に溶け込みやすい環境を作ること、就農後も色々な相談が出来たり、農家から様々なサポートを受けられる環境にあります。その後、翌年1月から本格的に就農に向けたイチゴ栽培の専門研修を受け新規就農を目指す、就農に特化した制度となっています。

年齢要件	採用時に55歳未満
研修期間	4月から翌々年の3月
就農時期	採用時の翌々年の4月
研修中の給付金	年額 198 万円（月額 16.5 万円） 車両借上料 月 額 2 万円 通 信 費 月 額 1.5 万円 住宅賃料（実費） 月 額 上限4万円 傷害保険料 年 額 1.5 万円程度
その他要件	転出地が過疎、山村などの指定地域でないこと。

様似町の紹介

様似町は北海道の背骨ともいわれる日高山脈の南端に位置し、平成27年にユネスコ世界ジオパークに認定された「アポイ岳」が市街を見守る自然豊かな町です。町の総面積は364.33km²で、そのうち約9割が森林に囲まれ、水産業と農業が主な産業です。

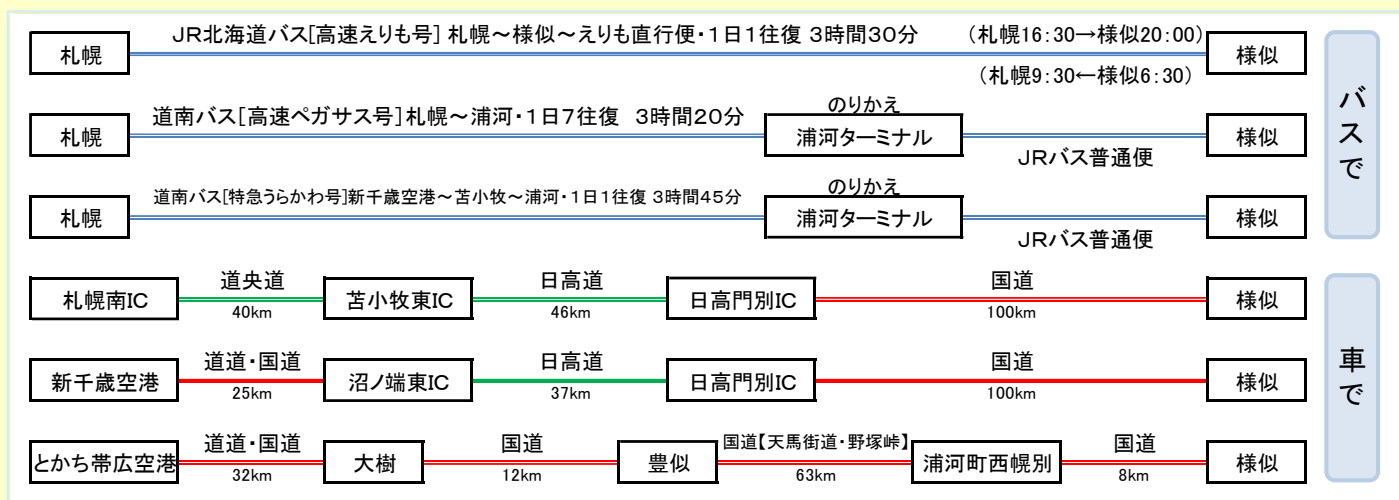
主な特産物は、漁業ではサケ・真つば・日高昆布、農業ではサラブレッド生産やイチゴ栽培が盛んに行われています。



町の象徴「アポイ岳」



夏の風物詩「日高昆布漁」



【 ご相談・お問い合わせ先 】

●様似町農業担い手育成協議会

〒058-8501 様似郡様似町大通 1 丁目 21 (様似町役場産業課農務係内)
TEL.0146-36-2113 FAX.0146-36-2662
E-mail:sangyouka@samani.jp URL:http://www.samani.jp/

●公益財団法人 北海道農業公社 担い手支援部

〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 1-23
TEL.011-271-2255 FAX.011-271-3776 URL:http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/

